

概況	<p>①心血管疾患とは：心疾患と血管疾患に大別。心疾患は、虚血性心疾患（狭心症及び心筋梗塞等）、心臓弁膜症、不整脈、心不全など。血管疾患は、動脈硬化や大動脈瘤、大動脈解離など</p> <p>②推計患者数：全国的に、虚血性心疾患は減少傾向だが、不整脈や心不全等のその他の心疾患（高血圧性を除く）、大動脈瘤及び解離は増加傾向</p> <p>③死亡数：心疾患による年間死亡者は4千人弱となっており、増加傾向。死亡原因の第2位</p> <p>④年間調整死亡率：急性心筋梗塞の年間調整死亡率（人口10万対）は、男女ともに全国平均を下回る</p> <p>⑤救急搬送：救急車で搬送された重症患者の疾患別割合及びそのうち死亡に分類された者の疾患別割合ともに心疾患が最も高い</p>
----	--

方向性	<p>○ 心血管疾患を予防する生活習慣に関する県民の理解促進を図ります。</p> <p>○ 患者が発生した場合において、速やかに専門的な医療に繋げる体制を確保します。</p> <p>○ 急性期における医療では、施設ごとの医療機能を明確にして、地域に適した施設間ネットワークの構築を促進します。</p> <p>○ 急性期から回復期・維持期へ、一貫して疾病管理プログラムとしての心臓血管リハビリテーションを継続できるネットワークの構築を目指します。</p> <p>○ かかりつけ医等と専門的医療を行う施設が連携して、維持期における治療及び疾病管理としての維持期リハビリテーション体制の整備を目指します。</p>
-----	---

現状と課題	
-------	--

番号	A 個別施策
----	--------

番号	B 目標
----	------

番号	C 最終目標
----	--------

予防	<p>発症の予防には自分の体の状態の把握と生活習慣の改善や適切な治療が重要</p> <p>①特定健康診査実施率、特定保健指導の実施率は全国平均を下回っている</p> <p>⇒<b>健診後の保健指導を通じて医療機関への受診を勧奨することが課題</b></p> <p>②高血圧疾患及び糖尿病の年齢調整外来受療率（人口10万対）は全国に比べてやや高い</p> <p>⇒<b>定期的な外来受診による生活習慣の改善指導、かかりつけ医を含む医療機関の連携等が重要</b></p>
----	---

番号	1	<p>(1) 健康管理</p> <p>(2) 健診等の受診率の向上</p> <p>(3) たばこ対策</p> <p>(4) 疾患等の知識の普及啓発、地域の連携促進</p>
----	---	---

番号	1	<p>心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防すること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     特定健康診査の実施率                      特定保健指導の実施率                      成人の喫煙率                      高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率                      脂質異常症患者の年齢調整外来受療率                 </td> </tr> </table>	目標値	特定健康診査の実施率 特定保健指導の実施率 成人の喫煙率 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率
目標値	特定健康診査の実施率 特定保健指導の実施率 成人の喫煙率 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率			

※青色セル：保健医療計画の目標値とはなっていないが、今回のロジックモデルの活用検討に当たり追加した指標。

救護	<p>急性心筋梗塞や急性大動脈解離を疑うような症状が出現した場合、本人や患者の周囲にいる者は速やかな救急要請が必要</p> <p>①119番通報から病診収容までに要した時間は全国平均と比べてやや短い</p> <p>⇒<b>引き続き、搬送機関と医療機関等との迅速な連携体制の維持・向上が重要</b></p> <p>②一般市民により除細動が実施された件数は、減少傾向で、全国平均と比べてやや少ない。</p> <p>⇒<b>AEDの使用や蘇生法等の適切な実施について県民に対する普及啓発を推進することが重要</b></p>
----	--

番号	2	<p>(1) 救急搬送時間の短縮</p> <p>(2) 救命率の向上</p> <p>(3) ドクターヘリ等の運用</p> <p>(4) 初期症状出現時の対応</p>
----	---	--

番号	2	<p>心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に専門的な診療が可能な医療機関に到着できること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     救急要請から医療機関への搬送までに要した平均時間                      心肺機能停止疾病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数                 </td> </tr> </table>	目標値	救急要請から医療機関への搬送までに要した平均時間 心肺機能停止疾病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数
目標値	救急要請から医療機関への搬送までに要した平均時間 心肺機能停止疾病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数			

番号	1	<p>心血管疾患による死亡が減少している</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     心血管疾患・虚血性心疾患・心不全・大動脈疾患の年齢調整死亡率                 </td> </tr> </table>	目標値	心血管疾患・虚血性心疾患・心不全・大動脈疾患の年齢調整死亡率
目標値	心血管疾患・虚血性心疾患・心不全・大動脈疾患の年齢調整死亡率			

急性期	<p>施設毎の医療機能を明確にして、地域の救急搬送圏の状況を踏まえた上で、地域に適したネットワークの構築が必要</p> <p>①循環器内科医師数、心臓血管外科医師数（人口10万対）は全国に対し、少ない</p> <p>⇒<b>専門的な医療従事者の育成・確保が必要</b></p> <p>②急性心筋梗塞等に対する専門的治療は、二、五次保健医療圏では対応可能</p> <p>⇒<b>速やかな専門的診療が実施できるよう、地域に適したネットワークの構築が必要</b></p>
-----	--

番号	3	<p>(1) 専門医師の確保</p> <p>(2) 急性期の医療機能の確保</p>
----	---	---

番号	3	<p>①患者の来院後速やかに初期治療を開始するとともに、30分以内に専門的な治療を開始すること</p> <p>②合併症や再発の予防、在宅復帰のための心臓血管疾患リハビリテーションを実施すること</p> <p>③再発予防の定期的専門的検査を実施すること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     急性心筋梗塞等の急性期患者に24時間対応又オンコール対応できる医療機関数                      PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合                      入院心臓血管疾患リハビリテーションの実施件数                      心臓血管疾患・虚血性心疾患の退院患者平均在院日数                 </td> </tr> </table>	目標値	急性心筋梗塞等の急性期患者に24時間対応又オンコール対応できる医療機関数 PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合 入院心臓血管疾患リハビリテーションの実施件数 心臓血管疾患・虚血性心疾患の退院患者平均在院日数
目標値	急性心筋梗塞等の急性期患者に24時間対応又オンコール対応できる医療機関数 PCIを施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合 入院心臓血管疾患リハビリテーションの実施件数 心臓血管疾患・虚血性心疾患の退院患者平均在院日数			

※各データの現状値や目標値については、今後の原案作成時に、その時点で把握可能な最新値等を踏まえ、お示しする予定です。

回復期	<p>回復期における治療、心臓血管疾患リハビリテーション体制の整備、及び急性期から回復期・維持期へ、一貫してリハビリを継続できるネットワークの整備が必要</p> <p>①心臓血管疾患リハビリテーションに対応可能な医療機関は〇〇傾向（※）（届出施設数はほぼ横ばい）</p> <p>⇒<b>合併症や再発の予防、早期の在宅復帰等に資するため、心臓血管疾患リハビリテーションの体制整備が重要</b></p> <p>②地域連携クリティカルパスの導入医療機関数は〇〇傾向（※）</p> <p>⇒<b>地域連携クリティカルパスの普及・改良等による連携の一層の推進が必要</b></p> <p>③在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合は、約95%となっている。</p> <p>⇒<b>かかりつけ医を含む医療機関の連携体制や心臓血管疾患リハビリテーションの体制整備のほか、在宅等生活の場への復帰に係る連携体制の構築・支援が重要</b></p> <p>※ 令和4年度医療施設機能調査の精査後記載</p>
-----	---

番号	4	<p>(1) 心臓血管疾患リハビリテーションの充実</p> <p>(2) 地域の連携促進</p>
----	---	--

番号	4	<p>①再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理を実施すること</p> <p>②合併症や再発の予防、在宅復帰のための心臓血管疾患リハビリテーションを入院又は通院により実施すること</p> <p>③在宅等生活及び就労の場への復帰を支援すること</p> <p>④患者に対し、再発予防などに関し必要な知識を教えること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     心臓血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数                      地域連携クリティカルパス導入医療機関数                      外来心臓血管リハビリテーションの実施件数                      心臓血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数                 </td> </tr> </table>	目標値	心臓血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数 地域連携クリティカルパス導入医療機関数 外来心臓血管リハビリテーションの実施件数 心臓血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数
目標値	心臓血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数 地域連携クリティカルパス導入医療機関数 外来心臓血管リハビリテーションの実施件数 心臓血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数			

番号	2	<p>心臓血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     健康寿命（男）                      健康寿命（女）                      在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患・大動脈疾患患者の割合                 </td> </tr> </table>	目標値	健康寿命（男） 健康寿命（女） 在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患・大動脈疾患患者の割合
目標値	健康寿命（男） 健康寿命（女） 在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患・大動脈疾患患者の割合			

再発予防	<p>維持期における治療、及び心臓血管疾患リハビリテーション体制の整備による再発予防、基礎疾患・危険因子の管理が必要</p> <p>⇒<b>在宅でのリハビリや再発予防のための管理を薬局や訪問看護ステーション等と連携して実施することが重要</b></p> <p>⇒<b>歯科医療機関と連携し、歯周病等の口腔疾患の治療や専門的口腔ケアに取り組むことが必要</b></p>
------	---

番号	5	-
----	---	---

番号	5	<p>①再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理を実施すること</p> <p>②在宅療養を継続できるよう支援すること</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #4F81BD; color: white; text-align: center;">目標値</td> <td>                     予防、回復期と同じ                 </td> </tr> </table>	目標値	予防、回復期と同じ
目標値	予防、回復期と同じ			